

ごあいさつ

2010年度は、引続き自動車保険の新規契約獲得が好調に推移し、その結果、保有契約も順調に増加したため、全種目合計の正味収入保険料は前年度から8.8%増え、733億円となりました。これに資産運用収益等を加えた経常収益も前年度から8.8%増え、741億円となりました。経常利益は、自動車事故の増加による損害率の悪化があったため、事業費の増加は抑制気味に推移したものの、前年度より16.4%減り、21億円となりました。また、当期純利益は、前年度より19.2%減り、12億円となりました。なお、2011年3月末のソルベンシー・マージン比率は981.4%となり、引続き十分な財務的健全性を確保しています。

2011年3月11日に発生しました東日本大震災は、損害保険業界に業務と財務の両面において多大な影響をもたらすことになりました。当社においては自動車保険が事業の中心となっていることもあり、その影響は比較的小さいものとなりました。しかしながら、これを契機として、あらためて損害保険会社としての社会的責任の重さを自覚し、一層事業の健全性確保に取り組んでまいりたいと思います。

2011年度は、損害率上昇が続いている自動車保険について、保険料水準を見直すとともに、独自性のあるリスク細分を一層強化する改定を2011年2月に行いましたので、成長性を維持するとともに、収益性についても一定の改善が見込めると考えております。情報システム分野を中心とした戦略投資については昨年度に引続き注



力し、中長期的な成長に資する事業基盤の整備を行います。また、競争力の源泉であるサービスについては、一層品質の向上に取り組み、より高い顧客満足度の実現に努めたいと思います。

長期的には、引続き市場の成熟や競争の激化あるいは社会におけるインターネットの果たす役割の拡大が進むと考えています。こうした環境に適応して、確実にビジネスモデルを進化させるとともに、今まで以上に顧客価値を高め、より多くのお客様から信頼と支持を得られるよう努力してまいりたいと思います。引続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

ソニー損害保険株式会社

代表取締役社長

山本真一